

心肺停止蘇生率

【指標の説明】

当院の救命救急の質を表す指標です。

蘇生率の向上のためには病院前救護体制の充実が必要なため、当院では救急救命士への臨床実習や教育の機会を提供し、救急現場での処置に対するアドバイスを行っています。

総務省消防庁「平成27年版救急・救助の現況」によると、一般市民が目撃時に心肺蘇生を実施した場合の1ヶ月後生存率は、心肺蘇生を実施しなかった場合の1.8倍です。

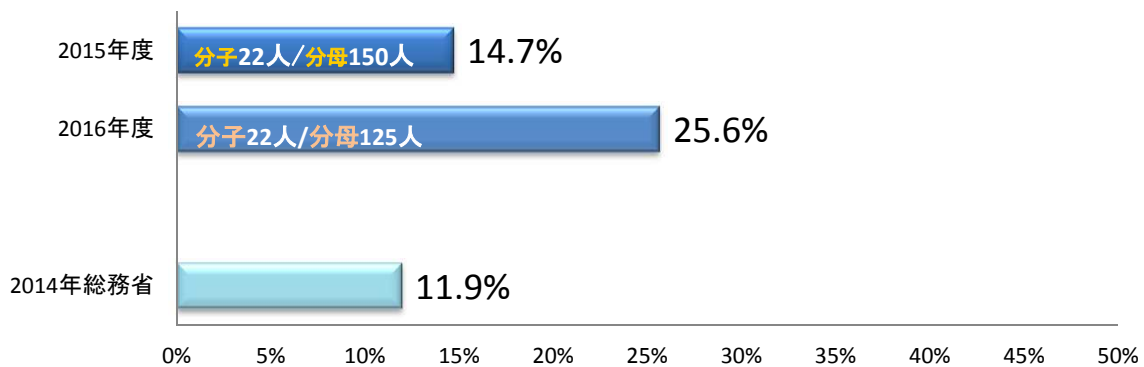
当院では全職員を対象にBLS研修を行っており、院内だけでなく地域の蘇生率向上に貢献したいと考えています。

※BLS(Basic Life Support)とは心肺停止状態の人に対して行う救命処置を指します。容体急変などで心肺停止状態に陥ってしまった時、医師や医療機器が揃うまでの即時対応として行われています。

【定義】

分子 心拍が再開し、入院加療に至った患者数

分母 心肺停止で搬送された患者数



<比較対象>

総務省消防庁「平成26年版救急・救助の現況」より

平成25年に心肺機能停止状態で救急搬送された傷病者のうち、一般市民により心原性心肺機能停止の時点が目撃された傷病者の1ヶ月後生存率